



JAPAN Swimming Federation
財団法人日本水泳連盟

[TOP](#) | [大会一覧](#) | [日本代表](#) | [記録一覧](#) | [標準記録](#) | [組織](#)

日本代表	▶
国際大会結果	▶
記録一覧	▶
標準記録	▶
データベース	▶
公認グッズ	▶
加盟団体情報	▶
連盟情報	▶
委員会情報	▶
機関誌「月刊水泳」	▶
アンチ・ドーピング	▶

競技委員会からのお知らせ

[>> 競技委員会トップへ](#)

◆2010年4月からの国内競技会における水着の取扱いについて◆

2010年4月1日より

『日本水泳連盟ならびに加盟団体が主催する競技会(公式競技会)と公認された競技会(公認競技会)において着用する水着は下記の通りとする。』

- (1) 水着の形状(身体を覆う範囲)は次の通り。
 - イ) 男子はへそを超えず、膝までとする。
 - ロ) 女子は肩から膝までとする。ただし首、肩を覆うことはできない
- (2) 重ね着は、禁止。着用できる水着は一枚のみとする。
- (3) 水着あるいは身体へのテーピングは禁止とする。
- (4) 素材は繊維のみとする。(ラバー及びパネルを貼ったものは不可)

※ 国際水泳連盟(FINA)の承認を受けていないものでも構わない。(ただし形状・素材は守ること)

※ 但し、世界新記録、日本新記録(高校～学童新記録を含む)の公認は、すべて国際水泳連盟(FINA)に承認された水着であることを条件とする。

(理由)

国際水泳連盟(FINA)に承認された水着が、すべての競技者に直ちに供給されることは、難しいと考え、暫定的に国内規則を設ける。2009年以前に販売された水着でも使用可能とする。

本規則の適用期間は平成22年4月1日より平成23年(2011年)3月末までとする。

(参考資料)

国際水泳連盟(FINA)の水着に関する決定事項は下記の通り(2009年7月24日)

- (1) 水着の形状(身体を覆う範囲)は次の通り
 - イ) 男子はヘソを超えず、膝までとする。
 - ロ) 女子は肩から膝までとする。ただし首、肩を覆うことはできない。
- (2) 重ね着は、禁止。着用できる水着は一枚のみとする。
- (3) 水着あるいは身体へのテーピングは禁止とする。
- (4) 素材は繊維のみとする。
 - イ) 素材の厚さを最大0.8ミリとする。
 - ロ) 浮力の効果を0.5ニュートン(N)以下とする。
 - ハ) 透過性最小値は80l/m²/秒とする。尚、計測は素材を上下左右に25%伸ばした状態で行われる。
 - ニ) テストは必ず科学者チームにより、科学的方法で行われる。
 - ホ) 認可テストの後の修正・改造は禁止する。

● [ジャパンオープン\(25m\)の参加者の皆さんへ【水着の取扱いについて】](#)→

各委員会

競泳委員会		飛込委員会		水球委員会		シンクロ委員会
医・科学委員会		競技委員会		学生委員会		ジュニア委員会
地域指導者委員会		競技力向上コーチ委員会		水泳教師委員会		広報委員会
施設用具委員会		情報システム委員会		総務委員会		日本泳法委員会
生涯スポーツ委員会		OWS委員会		スポーツ環境委員会		

[▲このページのTOPへ](#)

[リンク集](#) | [プライバシーポリシー](#) | [サイトマップ](#)

© Copyright 2006-2009 Japan Swimming Federation